令和７年３月３日

保護者の皆様

知立市立知立中学校長
淵　上　隆　博

「令和６年度アンケート分析」と「令和７年度に向けて」

※　「達成されている」、「ほぼ達成されている」を肯定的評価として、「あまり達成されていない」「達成されていない」を否定的評価と捉えての分析

ネットでの回答を始めた令和４年度以降は、回答数が減少傾向にあります。それでも、今年度も、多くの保護者の方から御回答いただきました。いただいた御意見を参考にしながら、次年度に向けて改善していきたいと考えています。御協力ありがとうございました。

Ⅰ　確かな学力を育む教育

学習指導要領が改訂されて、４年が経過します。多くの教員が、試行錯誤を繰り返しながら、タブレットなどのＩＣＴ機器を有効活用した授業づくりに励んでいます。タブレットについては、持ち帰りによるメリットとデメリットの検証、情報モラルに関する指導を今後も継続していく必要性を痛感しています。

また、保護者と教員の共通の認識として、「家庭学習（課題）の内容や量は適切であるか」のポイントが下がっていました。今後の課題として、各学年や各教科における課題について、検討を進め、見直していく必要があると考えています。

Ⅱ　豊かな人間性を育む教育

どの項目も、概ね昨年度と同様の評価でした。しかし、「(生徒が）充実した学校生活を送っていると思うか」という問いについては、保護者のポイントが上がっているのに対して、教員のポイントは下がっていました。部活動や学校行事の縮小傾向を受けてのことと考えられます。市の部活動ガイドラインや職員の勤務時間の問題など、考慮するべきところを考慮しつつ、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう努めていきたいと思います。

また、あいさつについては、生徒会執行部や各学年の級長会が中心となって、あいさつ運動を実施しました。「目を見てあいさつ」、「笑顔であいさつ」など、今後も学校内だけでなく、地域も含めた日常生活における気持ちのよいあいさつを大切にできるように取り組んでいきたいと思います。

Ⅲ　健康と体力を育む教育

昨年度の１月から、日課を変更することで、冬の１６時３０分下校の期間にも、３０分の部活動ができるようにしました。今年度も同じ日課を実施し、次年度も継続していく予定です。しかし、「十分な体力づくりができていると思うか」の問いについては、保護者のポイントが大きく下がっていました。生徒の意見にも「部活の時間を増やしてほしい」というものが多く見られました。体育の授業や部活動などを通して、限られた時間の中で、十分な体力づくりができるよう指導の改善に努めていきたいと思います。

また、「規則正しい生活習慣ができていると思うか」という問いについては、生徒と教員のポイントが下がっています。養護教諭部会でも、生活習慣アンケートを実施したり、学校保健委員会で講演を聞いたりするなど、生活習慣の改善を啓発してきましたが、今後もタブレットの使用も含め、生活習慣の見直しに関する指導を継続的に行っていく必要があると考えています。

Ⅳ　きめ細やかな指導の充実

生徒の個性に応じたきめ細かな指導については、保護者からのポイントは上がっていました。しかし、「（教員の）チームとしての指導」の問いについて、生徒と教員のポイントが下がっています。生徒一人ひとりの個性や学習状況に応じたきめ細かな指導について、学習指導や生活指導に関する研修を行い、教員のスキルアップを図っていきたいと思います。同時に、教員間の情報共有と連携した指導が実践できる雰囲気づくりに努めていきます。

Ⅴ　学校、家庭、地域との連携の推進

この項目については保護者のポイントが下がっていました。理由としては、きずなメールやホームページによる情報の発信が不十分だったからだと思われます。きずなメールやホームページをより良いものに見直していくのと同時に、授業参観や学校公開日などで、生徒の学校生活の様子を実際に見ていただける機会を充実させていきたいと考えています。